

2020年5月8日

各 位

会 社 名 K u d a n 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 大 野 智 弘
(コード番号：4425 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 飯 塚 健
(Tel.03-4405-1325)

通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

K u d a n株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：大野 智弘、以下、当社）は、2020年2月7日に公表した2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が発生しましたので、お知らせいたします。

1. 2020年3月期の連結業績予想値と実績値との差異

(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	650	213	213	213	30.38
実 績 値 (B)	456	9	△12	△29	△4.17
増 減 額 (B - A)	△194	△204	△225	△242	
増 減 率 (%)	△29.8	△95.6	—	—	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	376	123	103	103	15.35

2. 差異の理由

2020年3月期においては、日本市場におけるプロジェクトの拡大があった一方、新型コロナウイルスによる感染症の拡大により、中国や欧州におけるプロジェクトの縮小や延期が相次いだことで売上高及び利益の減少となりました。

当社は、2020年3月期より事業開発及びプロダクト開発人員を増強し、ロボティクス事業や低速モビリティ等、当社技術の活用範囲を拡大させるべく多数のプロジェクトを積極的に推進してきたことに加え、当社技術の機能拡充及びプロダクトパッケージ化にも注力しながら、新たなセクターの開拓・拡大に尽力してまいりました。しかしながら、国境の枠組みを超えて技術展開を行っております当社にとって、中国をはじめ、欧州におけるビジネスの遅延は影響が大きく、売上高及び営業利益が当初の計画を下回る結果となりまし

た。

また、上記要因のほか、経常利益においてはポンド・ユーロ安に起因する為替差損、親会社株主に帰属する当期純利益においては国内の業務資本提携先への出資の投資有価証券評価損の計上により、当初の計画を下回る結果となりました。

【K u d a n株式会社について】

Kudan（東証上場コード: 4425）は機械（コンピュータやロボット）の「眼」に相当する人工知覚（AP）のアルゴリズムを専門とする Deep Tech（ディープテック）の研究開発企業です。人工知覚（AP）は、機械の「脳」に相当する人工知能（AI）と対をなして相互補完する Deep Tech として、機械を自律的に機能する方向に進化させるものです。現在、Kudan は高度な技術イノベーションによって幅広い産業にインパクトを与える Deep Tech に特化した独自のマイルストーンモデルに基づいた事業展開を推進しており、独自の人工知覚（AP）技術に加えて、人工知能（AI）や IoT（Internet of Things）との技術融合に向けた Machine Perception（機械知覚）Deep Perception（深層知覚）や Neural Perception Network（知覚ニューラルネットワーク）に関する研究開発を行っています。詳細な情報は、<https://www.kudan.io/?lang=ja> より入手可能です。

■会社概要

会 社 名： K u d a n株式会社
証券コード： 4425
代 表 者： 代表取締役 大野 智弘

■問い合わせ先

contact@kudan.eu

